



文化財愛護  
シンボルマーク



市の花／ぼたん



市の木／松

地図を片手に、  
東松山の歴史を訪ねよう！

# 東松山市の 文化財マップ



## ■企画・編集

### 東松山市文化財マップ作成市民ボランティア

- 大岡地区：岩崎一男・加藤節夫・伊田日吉・関根俊雄
- 松山地区：坂本武士・小菅勇三郎・西村吉雄・前田 実
- 野本地区：岡留一昭・牧 静子・斎藤吉弘・小峰 喬
- 唐子地区：木村武夫・石川房子・小高 弘・吉川弘一・浦部由美子
- 高坂地区：三浦芳彦・関口久子・川島末吉・佐藤英之・松井啓作

## ■発行

平成16年1月 東松山市教育委員会 令和5年1月改訂

[表紙写真：正法寺の大銀杏・上野本の獅子舞・金谷の餅つき踊り・旧埼玉県立松山中学校校舎]

# 歴史の中の東松山

## ◆古代から文化が花開いた土地

東松山市は、市野川、都幾川、越辺川の河川によって開析された台地の上に位置し、豊かな自然と水に恵まれて、古代から人々の生活が営まれてきました。市内には約300ヵ所の遺跡が残っています。

## ◆武蔵武士団が活躍した中世

平安時代になると、開拓した土地を守るため武士団が形成されました。武蔵武士は、鎌倉幕府樹立の推進力にもなりました。比企氏をはじめ、小代、野本、押垂氏の各武士が史実に登場するのもこの頃です。鎌倉時代から戦国時代には、青島城などの城館が築かれるようになりました。

## ◆天領、旗本領であった近世

近世になると、天領や旗本領として統治され、大谷村は森川氏、野本村は渡辺氏、唐子村は菅沼氏、高坂村は加賀爪氏などというように、旗本の知行地となりました。また、川越・熊谷道、秩父道、日光道といった公道が通っていたことから、馬継場が置かれ、「宿」が形成され、「市」が立ち、物資の流通が盛んに行われるようになりました。

## ◆東松山市の誕生

明治時代になると東松山市域は入間県、熊谷県を経て、埼玉県域に入ります。そして明治21(1888)年には、町村制施行に伴い、松山町・大岡村・野本村・唐子村・高坂村となり、昭和29(1954)年に、この1町4村が合併し、現在の東松山市が誕生しました。

# この冊子の使い方

「東松山市の文化財マップ」は、市内5地区（大岡・松山・野本・唐子・高坂）の代表による市民ボランティアが、それぞれの地区の主な文化財を選んで編集した冊子です。

東松山市の歴史と文化財を訪ねたいとき、気軽に手に持って出かけられ、必要なときには広げ場所を確認しやすいように工夫してあります。

## 地区の色分けは下の通りです



<b>東松山市 全域図</b>	信号名を入れた道路と鉄道、バス停、主な公共施設を掲載しました。5地区の位置は、ここで確認してください。
<b>地区別の 文化財</b>	大岡地区・松山地区・野本地区・唐子地区・高坂地区の順に、主な文化財を写真と説明文で紹介しました。地図には、訪ねる際の目印となるよう、信号名や標識板名、標柱などを掲載しています。なお、番号は、後ろのページの「指定文化財一覧」の表内の番号と対応しています。
<b>東松山市の 指定文化財 一覧</b>	地区ごとに国・県・市指定のすべての文化財を掲載しました。表の番号は地区別の地図の番号と対応しています。
<b>東松山市の 主な祭り と 民俗行事</b>	指定になっていないものも含めて、古くから伝わる主な民俗行事を月別に掲載しました。
<b>東松山市の 指定民俗 文化財</b>	指定になっている民俗文化財を紹介しました。見学される場合は、日取りを確認してお出かけください。
<b>東松山市の 見どころ</b>	文化施設を中心に市内の見どころを紹介しました。歩けのまち・東松山の一大イベント「日本スリーデーマーチ」もここに紹介しています。

# 東松山市 全域図



大岡地区



松山地区



唐子地区



高坂地区



野本地区

# 大岡地区の文化財

東松山市の北部、光福寺の宝篋印塔や大谷瓦窯跡など、貴重な重要文化財が数多く点在する地区です。馬の神様として知られる上岡観音の絵馬市には、県外からも参詣客が訪れます。



※地図内の番号は、後ページの「東松山市の指定文化財一覧・大岡地区」の番号と対応しています。

国指定

## 1 光福寺宝篋印塔

【東松山市大字岡498 光福寺境内】

沙彌闍阿が比丘尼妙明と藤原光貞の供養のため、元亨3(1323)年に造ったものです。鎌倉後期を代表する均整の取れた塔。

国指定

## 3 大谷瓦窯跡

【大谷2192】



7世紀頃、丘陵の斜面を掘りくほめて造った登り窯の跡です。寺院の屋根に使われた軒丸瓦や平瓦、丸瓦、文字瓦等が出土。文字瓦は「奈」「風」「水」「千」「月」等の文字が読み取れます。(※出土品は埋蔵文化財センターに収蔵)



県指定

## 5 光福寺宝篋印塔出土品

宝篋印塔塔基から出土したものです。白磁四耳壺は14世紀前半の中国製、数珠は水晶で、五輪塔は青銅製で総高3.1cmです。他に、仏舎利も出土しています。



県指定

## 4 板石塔婆 (光福寺)

嘉元4(1306)年銘の阿弥陀三尊図像。三尊は飛雲に乗り、浄土から死者を迎える来迎の姿を示しています。高さ168cm。



市指定

## 8 森川氏累代の墓

【大谷438 宗悟寺境内】

宗悟寺は、徳川家康に仕えた森川金右衛門氏俊が、天正20(1592)年に興した寺。累代の墓は、いずれも近世の宝篋印塔の形をよく残しています。

市指定

## 9 雷電山古墳出土埴輪

【大谷 雷電山付近】

大谷地区の丘陵に放射状に分布する関東屈指の規模の大古墳群です。5世紀初頭の雷電山古墳を中心に、かつては3基の前方後円墳、約250基の円墳群がありました。(※出土品は埋蔵文化財センターに収蔵)

市指定

## 15 相撲場と大雷神社の絵馬

【大谷3506大雷神社境内】

大雷神社では、江戸大相撲を招いて祭礼相撲を盛大に催し、「関東の三大辻相撲」の一つに数えられました。当時を偲ぶ相撲の絵馬が奉納されています。



市指定

## 13 比丘尼山と横穴墓群

【大谷265他】

源頼朝の乳母である比企禪尼が草庵を営んだと言われている地です。この山には、吉見百穴(吉見町)などと同様7世紀頃の横穴墓群があります。



この地図の見方  
 ● 信号  
 ■ 信号名  
 ● 標式板  
 ■ 標式板名  
 ● 標柱  
 ● 目印  
 ● 説明板



県指定

## 6 吉ヶ谷遺跡竪穴住居跡出土品

比企地方の弥生時代後期(1世紀~3世紀)を代表する資料です。



# 松山地区の文化財

東松山市の中心地「松山地区」。  
往時には箭弓稲荷道を大勢の参拜客が行き交い、  
江戸末期には陣屋が置かれました。

※地図内の番号は、後ページの  
「東松山市の指定文化財一覧・松山地区」の番号と対応しています。

県指定

## 2 箭弓稲荷神社社殿 付棟札二枚

【箭弓町2-5-14 箭弓稲荷神社】  
社伝によると、和銅5(712)年創建と伝えられています。現在の社殿は、本殿と幣殿が天保7(1836)年3月に完成、拝殿は棟札より天保6(1835)年上棟、天保11年(1840)年に完成しました。権現造で、本殿内外には見事な彫刻が施されています。

県指定

## 3 上田朝直建立青石塔婆

【神明町1-12】  
戦国の世を生き抜いた名将、松山城主の上田朝直が、元亀2(1571)年に、一族や家臣の冥福を祈って建立した供養塔。高さ273cm。



市指定

## 17 十三仏板石塔婆

【松本町】  
享徳2(1453)年銘の十三仏信仰の板石塔婆。見高大姉という女性の逆修供養としてつくられたものです。高さ117cm。

市指定

## 26 松山陣屋跡

【松葉町1-1-58】  
慶応3(1867)年、川越藩主松平直克が前橋転封により、比企郡を中心とした武蔵の国の領地を支配するために建てた陣屋跡。明治4(1871)年までの4年間、事実上の城下町としての機能を果たしました。



市指定

## 27 なんじゃもんじゃの木

【箭弓町5642】  
古くから箭弓稲荷神社にお参りに来た人たちに親しまれてきた高さ10数mの大木で、学名はイヌザクラ。春には白い花が咲き、黄色がかった赤色の実がなります。

市指定

## 4 八雲神社の社殿

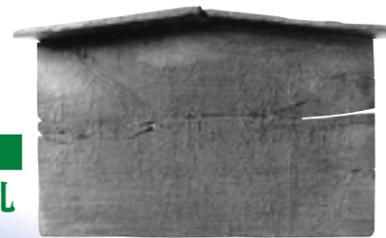
【本町1-5-8 八雲神社】  
4面すべて檜の彫刻で飾られた社殿。正面には花・鳥・竜・唐獅子、左右面や背面には神話の世界が彫られています。



市指定

## 15 永福寺の制札

【市の川212 永福寺】  
戦国時代の文書の原物としては市内最古。永福寺を保護する三ヶ条の決まり事が書かれています。天文22(1553)年の銘。



この地図の見方  
● 信号  
文字 信号名  
● 標式板  
文字 標式板名  
● 標柱  
● 目印  
● 説明板

# 野本地区の文化財

川越道や八王子道が通り、  
往時の街道の風情を今に伝える地区です。  
古凍(古郡)は、比企郡の郡役所が置かれていた場所ともいわれています。  
また、おくま山古墳をはじめ多くの遺跡が確認されています。

※地図内の番号は、後ページの  
「東松山市の指定文化財一覧・野  
本地区」の番号と対応しています。

## 国指定

### 1 木造阿弥陀如来坐像

【古凍536-1 等覚院】

ヒノキ材寄木造、漆箔の坐像。県内でも屈指の優品で、市を代表する古仏の一つ。胎内に書かれた銘から鎌倉時代中期の建長5(1253)年に、仏師定性によって修理されたことがわかっています。像高87.4cm。

## 県指定

### 2 古凍古墳群内土壙出土鉄製壺鍔及び馬具

【東松山市埋蔵文化財センター】

6世紀末から7世紀初頭(古墳時代後期)の馬具で、鉄製壺鍔は県内初の出土例。完全な形を留めた優品で、当時の金工技法・技術を知る上でも学術的価値の高いものです。

## 県指定

### 5 将軍塚古墳

【下野本612 利仁神社】

全長115m、後円部の高さ15m、前方部の高さ8mの前方後円墳。県内第2位の大きさです。近年、詳細な測量調査により、前期古墳ということが確定しました。

## 市指定

### 7 泉蔵寺の絵馬(馬の図)

【上押垂】



元禄3(1690)年に奉納された市内最古の大型絵馬。縦112cm、横157cmで、横3枚継ぎの桧材で製作されています。駒繫の図で、作者は狩野常信の娘と推察されています。

## 市指定

### 11 俱利伽羅不動尊

【上野本の不動沼近】

不動沼のほとりのお堂の中にある高さ90cmの石仏。黒竜が剣を飲み込もうとする恐ろしい姿の像。江戸期のものと思われる。「俱利伽羅」はインドの伝承の竜王のことで、不動明王の化身とされています。

## 市指定

### 12 浄光寺の板石塔婆

【下青鳥126 浄光寺】

建長2(1250)年、永和5(1379)年、天正13(1585)年銘の3基の板石塔婆が指定となっています。建長2年銘の塔婆は、阿弥陀三尊図像です。



## 市指定

### 13 清見寺心字座板石塔婆(写真中央)

【上野本1683 清見寺】

蓮台の代わりに心字座が彫られた珍しい板石塔婆。高さ128cmで、建長元(1249)年の銘。

## 市指定

### 17 五領遺跡

【柏崎字五領・若松町2丁目ほか】

古墳時代前期(4世紀頃)の遺跡。150軒以上の竪穴式住居址等が確認されました。出土した土器は「五領式土器」と命名され、古墳時代前期の標式土器になっています。(※出土品は埋蔵文化財センターに収蔵)

## 市指定

### 20 おくま山古墳

【古凍 熊野神社】

柏崎古墳群と古凍古墳群のほぼ中央にある全長62mの帆立貝形の前方後円墳。出土した円筒埴輪、人物埴輪などから5世紀末頃の築造と考えられます。



この地図の見方  
 ● 信号  
 文字 信号名  
 ● 標式板  
 文字 標式板名  
 ● 標柱  
 ● 目印  
 ● 説明板



# 唐子地区の文化財

東松山市の西北部、都幾川に沿って田園風景が広がる地区です。伝説を秘めた青鳥城跡や、数多くの板碑、禅寺の歴史を物語る浄空院など、見どころもたくさんあります。

※地図内の番号は、後ページの「東松山市の指定文化財一覧・唐子地区」の番号と対応しています。

## 県指定

### 1 板石塔婆

【神戸1121 妙昌寺祖師堂境内】  
妙昌寺は、日蓮上人が文永8(1271)年に佐渡に流されたとき、青鳥城に1泊したことを縁起に持つ寺。この板石塔婆は、高さ159cmで貞和2(1346)年に日蓮上人65回忌の供養のため建立されたもの。

## 県指定

### 2 青鳥城跡

【石橋2104ほか】  
文献などから築造は早くても平安末。城郭として整備されたのは、室町から戦国期にかけてと考えられ、城内には戦国時代の板碑も多数存在します。東西750m、南北600mの規模で、土橋の跡や物見櫓の跡、土塁などが残ります。

## 県指定

### 3 若宮八幡古墳

【石橋2240-1 八幡神社】  
6世紀末から7世紀初め頃に造られた市内第3位の大型円墳。直径30m、高さ4m。凝灰岩の切石積みみの横穴石室で、天井部にも巨大な凝灰岩が使用されています。

## 市指定

### 5 妙昌寺日蓮上人祖師像

ヒノキ材寄木造、南北朝時代。高さ68.5cm。



## 市指定

### 6 妙昌寺の瓦塔

五重塔を模して粘土を焼いて造られた塔。高さ68cm。安永6(1777)年の墨書があります。



## 市指定

### 8 虎御石(板碑)

【石橋1335 青鳥城二郭跡の東】  
青鳥城跡の東端オタメ池の辺に建ち、応安2(1369)年の銘がある板碑。高さ375cmで比企・入間地方最大の大きさです。

## 市指定

### 9 青鳥城跡板石塔婆

【石橋1309青鳥城二郭跡内西】  
正中3(1326)年に造立された高さ242cmの板碑。彫りに鎌倉後期の特徴がよく表れています。



## 市指定

### 4 浄空院本堂・庫裏・禅堂

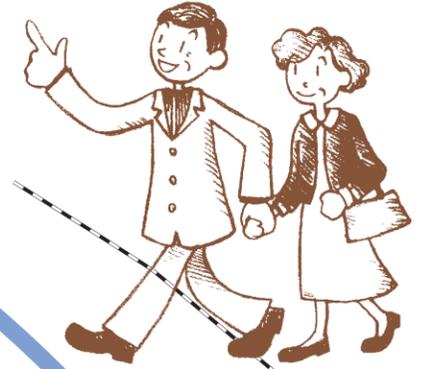
【上唐子679 浄空院】  
浄空院は文禄2(1593)年、旗本菅沼越前守定吉が開いた寺。参禅者の宿泊設備を備えた庫裏は広さ150坪で武家特有の備えが工夫されています。約100人が参禅できる禅堂など、豪華な造りの禅寺です。



## 市指定

### 10 水神塔

【上唐子1677-2 月田橋脇】  
かつて、都幾川・槻川筋の山々から伐り出された木材は、月田橋付近で筏に生まれ、江戸の千住まで流されて深川の木場へ運ばれました。安全祈願の水神塔の側面には、17村48名の名が刻まれています。



# 高坂地区の文化財

南比企丘陵のすそ野に広がる高坂台地には、東西を巡礼道・観音道、南北を児玉道・八王子道といった古道が複雑に交差しています。高坂地区は、古代からの遺跡も多いことでも知られる地区です。



## 38 後本宿のフセギ

フセギは邪気退散を願って行われる民俗行事です。

※地図内の番号は、後ページの「東松山市の指定文化財一覧・高坂地区」の番号と対応しています。



### 県指定

## 1 正法寺銅鐘

【岩殿1229 正法寺境内】

元亨2(1322)年の銘がある鎌倉時代末期の銅鐘。高さ113cm。全体的にとっしりとしています。表面の無数の傷は、天正18(1590)年の松山城合戦の折り、山中を引きずり回したためという説があります。



### 県指定

## 5 加賀爪氏累代墓

【高坂834 高済寺】

徳川幕府に仕えていた旗本加賀爪氏が、高坂地区の北半分を領有した際、高済寺を菩提寺にしました。本堂西の土塁の上に累代の墓が築かれています。

### 県指定

## 2 弘安四年銘板石塔婆

【正代864-1 青蓮寺境内】

小代重俊の供養と、蒙古襲来に備え九州に下った小代氏の武運を願って建立したものです。弘安4(1281)年の銘は「弘安の役」の年に当たります。



### 県指定

## 3 正法寺六面幢

【岩殿1210 正法寺境内】

緑泥片岩の6面の板石塔婆を組み合わせたもの。高さ107cm。天正10(1582)年、岩殿山の僧道照が建立したものと思われま。 (現在は1面欠)

### 県指定

## 4 物見山岩殿山観音の勝

【岩殿 物見山周辺地】

標高135mの物見山は比企丘陵の最高峰。山名は、坂上田村麻呂が東征のとき、この山に登り四圍を眺めたことに由来するといわれ、素晴らしい眺望が広がります。(現在は樹木に視界がさえぎられるため、写真は平和資料館展望塔からの眺望)



### 市指定

## 8 世明寿寺千手観音立像

【正代742-1 観音堂内】

南北朝時代に造られた像。眷属として、二十八部衆に風神、雷神を加えた30体の像があります。



### 市指定

## 10 八幡神社前庚申塔

【宮鼻252 八幡神社前】

舟形の石に、蓮台に立った阿彌陀如来像と、庚申のシンボル三猿、二鶏が浮彫りにされている高さ130cmの塔。寛文11(1671)年の銘があります。



この地図の見方  
 ●●● 信号  
 文字 信号名  
 ● 標式板  
 文字 標式板名  
 ● 標柱  
 ● 目印  
 ● 説明板



## 44 カタクリの群生地

【西本宿2247】

カタクリは万葉の昔から愛されてきた野草。各地で自生地が消滅している貴重な花の群生地です。



### 市指定

## 32 石橋及び石橋供養塔

【高坂 リバーサイド地内】

八王子・日光道が秩父道と分れて松山方面に向かう途中に架けられた石の橋。長さ約370cm、幅約150cmの一枚岩で、裏面に世話人12人の名が刻まれています。供養塔には、馬頭観音座像や、道標銘、発願主や石工の名など、多くの情報が刻まれています。



### 市指定

## 42 桜山窯跡群

【桜山台4 はにわの丘公園】

物見山丘陵の南斜面に築かれた登り窯。2基の須恵器窯と17基の埴輪窯が確認されています。須恵器窯は6世紀前半のもので、埴輪窯は6世紀中頃のもので、



八幡神社の大樫

# 東松山市の指定文化財一覧

重=重要文化財 建=建造物 選民=記録作成民俗文化財 史=史跡 考=考古資料  
 歴=歴史資料 無民=無形民俗文化財 有民=有形民俗文化財 絵=絵画 天=天然記念物  
 工=工芸品 古=古文書 彫=彫刻 名=名勝 旧=旧跡 書=書籍 典=典籍  
 登=登録有形文化財

## 1 大岡地区

番号	指定	種類	名称	所在地ほか	概要
1	国	重・建	こうふくじ ほうきよういんとう 光福寺宝篋印塔	岡498(光福寺)	鎌倉時代の石造宝篋印塔。基礎に元亨癸亥(1323)の銘。
2	国	選民	ひがしまつやまかみおかのん えまいち しゅうぞく 東松山上岡観音の絵馬市の習俗	岡(上岡観音・講元根岸家)	関東地方の絵馬頒布の様相をよく伝えている。 毎年2月19日妙安寺・上岡観音の縁日に絵馬市が立つ。
3	国	史	おおや がようせき 大谷瓦窯跡	大谷2192-1	7世紀後半の登り窯跡。鍍瓦(蓮華紋)出土。
4	県	考	いたいしとうば 板石塔婆	岡498(光福寺)	鎌倉時代の板石塔婆。嘉元4(1306)年銘。来迎阿弥陀三尊像を線刻。
5	県	考	こうふくじ ほうきよういんとうしゅつどひん 光福寺宝篋印塔出土品	岡498(光福寺)	重要文化財光福寺宝篋印塔の塔身及び塔下から発見。白磁四耳壺(蔵骨器)1口、付蓋石1個、水晶製数珠9顆、青銅製五輪塔1基、舍利10顆、火葬骨。
6	県	考	よしやついでせきたてあなじゆうきよあとしゅつどひん 吉ヶ谷遺跡竪穴住居跡出土品	下野本528-1(市埋蔵文化財センター)	弥生時代後期の吉ヶ谷式土器の標式資料。
7	市	工	かな 刀(勝村正勝)	野田(個人蔵)	慶応四戊辰(1868)正月の銘。長谷部信勝の依頼により製作。
8	市	歴	もりかわ しるだいの ほか 森川氏累代の墓	大谷438(宗悟寺)	旗本森川氏累代の墓。
9	市	考	らいでんやま こんしんつどはにわ 雷電山古墳出土埴輪	下野本528-1(市埋蔵文化財センター)	円筒・筒形埴輪計3点。県内最古の埴輪。5世紀初頭。
10	市	無民	の だ し し 舞 野田の獅子舞	野田(赤城神社・野田獅子舞保存会)	野田の赤城神社境内で毎年夏祭りと秋祭りに奉納される、座敷獅子。
11	市	有民	し し 舞 道 具 一 式 ( 野 田 ) 獅子舞道具一式(野田)	野田(長谷部家・野田獅子舞保存会)	野田の獅子舞に使用されていた獅子舞道具。牡獅子・牝獅子・大頭と呼ばれる獅子頭。
12	市	史	さんぜんづか こんぐん 三千塚古墳群	大谷雷電山付近	市北部の大谷の丘陵上に、8支群に分かれて分布する大古墳群。
13	市	史	ひく に やま おうつ ほぐん 比丘尼山と横穴墓群	大谷265ほか	古墳時代後期。比企能員の娘若狭局伝説のある比丘尼山と横穴墓群。
14	市	史	こう めんいちごうふん 鴻の面一号墳	大谷805	市内で唯一現存する方墳。1辺約14m。
15	市	史・絵	すもろば だいらいじんじや えま 相撲場と大雷神社の絵馬	大谷3506(大雷神社)	地形を利用した観覧席を持つ草相撲の土俵。かつて村人がぼたもちを持参して観戦したので「大谷のぼたもち相撲」とよばれていた。辻相撲の様子を描いた絵馬。
16	市	天	たまふとおかしんじや 玉太岡神社のムクノキ	岡745(玉太岡神社)	樹齢300~400年と推定されるムクノキ。

## 2 松山地区

番号	指定	種類	名称	所在地ほか	概要
1	国	登	旧埼玉県立松山中学校校舎	松山町1-1041ほか	大正12(1923)年に完成。フレンチ・ルネサンス様式を基調とする和洋折衷の木造2階建て校舎。
2	県	建	やきういなりじんじやしゃでん 箭弓稲荷神社社殿 付棟札二枚	箭弓町2-5-14(箭弓稲荷神社)	三間社流造の本殿と入母屋造の拝殿を向下造の幣殿で繋いだ複合社殿、本殿及び幣殿には精巧な彫刻を施す。
3	県	史	うえだ ともねおこんりゅうあおいしとうば 上田朝直建立青石塔婆	神明1-12(妙賢寺)	松山城主で案牘齋と号した上田能登守朝直が元亀2(1571)年に建立したものの。日蓮宗の題目を刻す。
4	市	建	やぐもじんじや しゃでん 八雲神社の社殿	本町1-5-8(八雲神社)	安政6(1859)年4月に建立。単層切妻造りの近世期社殿建築である。装飾彫刻を良好に残す。
5	市	建	やきういなりじんじやもとみや 箭弓稲荷神社元宮	箭弓町2-5-14(箭弓稲荷神社)	一間社流造。境内で最も古い建築物で江戸時代中期・享保年間頃(1716~1735)の建造と推定される。
6	市	建	やきういなりじんじやてみずやつけてみずばち 箭弓稲荷神社手水舎付手水鉢	箭弓町2-5-14(箭弓稲荷神社)	手水舎は天保7(1836)年建立、手水鉢は文政9(1826)年。願主はともに瀧山検校。手水舎は境内において元宮に次いで古い建物。
7	市	絵	やきういなりじんじや えま 箭弓稲荷神社の絵馬	箭弓町2-5-14(箭弓稲荷神社)	江戸時代後期の絵馬8面。神文願文の自慰宣伝の大型奉納額。
8	市	絵	じつかいず 十界図(江野樫雪作)	本町1-5-3(曹源寺)	江戸時代後期の仏教絵画。画面の中心の「心」から雲をなびかせ十界を描いている。複雑な構成が細やかな筆使いにより巧みに描かれている。
9	市	絵	しゃか ねほんず 釈迦涅槃図(江野樫雪作)	本町1-5-3(曹源寺)	江戸時代後期の仏教絵画。全体に色彩が淡く筆線も軽妙に描かれている。
10	市	彫	ましたけしよそう あみだにょらいそう 吉田家所蔵阿弥陀如来像	御茶山町(個人蔵)	鎌倉時代の作。背面に文応元(1260)年の銘。金銅製の阿弥陀如来像。
11	市	工	かな 刀(日比野道義)	日吉町(個人蔵)	「於江府日比野道義」銘。
12	市	工	さんのつやき 山王焼	日吉町(個人蔵)	安政2(1855)年、横田彦兵衛により信楽焼の技術を導入し始められたもの。
13	市	工	ようちゆう だ わらへ 幼鳥を抱く童(市川東玉斎作)	本町(個人蔵)	
14	市	工	はとうまくだい 波濤玉台(市川東玉斎作)	本町(個人蔵)	鑑型鋳物。初代は市川喜三郎で、東玉斎を名乗ったのは4代目長次郎の頃と言われている。
15	市	古	えいふくじ せいさつ 永福寺の制札	市の川212(永福寺)	天文22(1553)年、松山城主上田氏より与えられた制札。
16	市	古	まつやまじんや かんけい こんしよ 松山陣屋関係古文書	松葉町(個人蔵)	陣屋建設に関する資料。
17	市	考	いっさんぶつたいいしとうば 十三仏板石塔婆	松本町(個人蔵)	享徳2(1453)年銘。梵字により十三仏を刻む。
18	市	考	みずどり かん じんぶつ ほんにわ 水鳥を冠した人物埴輪	下野本528-1(市埋蔵文化財センター)	古墳時代後期の岩鼻古墳群出土。頭に鳥形を冠する人物埴輪。
19	市	考	ごりょう いせきしゅつどひん 五領遺跡出土品	下野本528-1(市埋蔵文化財センター)	古墳時代前期の五領遺跡出土品。
20	市	考	ひんこうちん さんごうふんしゅつどひん 東耕地3号墳出土品	下野本528-1(市埋蔵文化財センター)	古墳時代中期(5世紀後半)の横板板銀留短甲ほか武器・土器類の出土品。
21	市	歴	まつやまこちず 松山古地図	本町2-11-20(市立図書館)	近世期の松山の様子を伝える古地図。
22	市	歴	うえだ ともねおきしん じつかいまんだら 上田朝直寄進の十界曼荼羅	松本町1-11-56(妙賢寺)	松山城主上田朝直が天文19(1550)年に日現上人より下付してもらったもの。
23	市	歴	はくゆどうへんかく 博諭堂扁額	松葉町1-1-16(松山第一小学校)	川越藩学の学訓を扁額にして松山講学所に掲げたもの。
24	市	無民	やまがらまつり 箭弓町祭ばやし	箭弓町(箭弓稲荷神社・箭弓町祭ばやし保存会)	
25	市	無民	まつばらまつり 松葉町祭ばやし	松葉町(八幡神社・松葉町祭ばやし保存会)	市内の夏祭り(天王様の祭り)で、上演される祭ばやし。
26	市	史	まつやまじんや ちよ 松山陣屋跡	松葉町1-1-58 ほか	川越藩主松平直克が前橋藩転封に伴い、慶応3(1867)年、現市役所付近に陣屋を設置した。
27	市	天	なんじやもんじやの木	箭弓町2-5(箭弓稲荷神社)	学名「イヌザクラ」。春に白い五弁の花が咲く。

# 東松山市の指定文化財一覧

重=重要文化財 建=建造物 選民=記録作成民俗文化財 史=史跡 考=考古資料  
 歴=歴史資料 無民=無形民俗文化財 有民=有形民俗文化財 絵=絵画 天=天然記念物  
 工=工芸品 古=古文書 彫=彫刻 名=名勝 旧=旧跡 書=書籍 典=典籍  
 登=登録有形文化財(新設)

## 3 野本地区

番号	指定	種類	名称	所在地ほか	概要
1	国	重・彫	むくそうあみだにょらいざそう 木造阿弥陀如来坐像	古凍536-1(等覚院)(旧国宝)	鎌倉時代の作。胎内に建長5(1253)年、大仏子定性の修理銘。檜材の寄木造。
2	県	考	ふるこおこ ふんぐんないどこうゆくとつせいつほあひ 古凍古墳群内土壇出土鉄製壺鏡及び馬具	下野本528-1(市埋蔵文化財センター)	古墳時代後期の鉄製壺鏡一對、轡・飾り金具ほか。
3	県	彫	どうそうたんじょうしやくあぶつりゆうそう 銅造誕生釈迦仏立像	下野本662(無量寿寺)	県内最古の誕生仏。(平安時代)。
4	県	無民	かなやもちおど 金谷の餅つき踊り	上野本520(氷川神社・餅つき踊り保存会)	11月23日に氷川神社境内で、五穀豊穰を祈念して奉納される。
5	県	史	しょうぐんづかこふん 將軍塚古墳	下野本612(利仁神社)	5世紀後半から6世紀前半の築造と推定される。大型前方後円墳。本県第2位の規模。
6	市	工	かたな 刀(克一)	下野本528-1(市埋蔵文化財センター)	表「大日本東武松山住平克一」、裏「応川崎易良備作之」の銘。
7	市	絵	せんそうし えま 泉蔵寺の絵馬(馬の図)	上押垂116(泉蔵寺跡保管庫)	屋根型の大型絵馬。元禄3(1690)年に奉納。願主山下三郎右門、市内最古。
8	市	絵	しょうこうじ ゆうずうねんぶつえんぎ えまき 浄光寺の融通念仏縁起絵巻	下青鳥126(浄光寺)	江戸後期の仏教絵画。良忍の融通念仏勧進に集う貴賤男女の当時の風俗や信仰形態がよく反映された作品である。
9	市	絵	のものはちまんじんじやく えま 野本八幡神社の絵馬	上野本1239(八幡神社)	都幾川土手普請の様子を描いた絵馬。明治25(1892)年奉納。
10	市	彫	せんそうし しゅういちめんかんのりゅうそうつきたいはいぶつ 泉蔵寺十一面観音立像付胎内仏	上押垂116(泉蔵寺跡保管庫)	墨書より天正3(1577)年の銘。作者玉蓮。体内より前身と思われる仏頭が発見されている。
11	市	彫	くりからぶどうぞん 俱利伽羅不動尊	上野本1963(不動沼近くの堂)	江戸時代の作。石造彩色の俱利伽羅不動尊像。
12	市	考	しょうこうじ いたいしとうば 浄光寺の板石塔婆	下青鳥126(浄光寺)	①建長2(1250)年銘。阿弥陀三尊の陽刻。 ②永和5(1379)年銘。主尊は胎蔵界大日如来。脇侍は不動と薬師。 ③天正13(1585)年銘。主尊は釈迦如来。庚申侍供養。
13	市	考	せいけんじしんじざいたいしとうば 清見寺心字座板石塔婆	上野本1683(清見寺)	建長元(1249)年銘。胎蔵界大日如来の下に、蓮台のかわりに心字座となっている。
14	市	考	こがねくわ 古鏡と釧	柏崎(個人蔵・埼玉県立博物館寄託)	鏡は平縁白銅質の仿製内行花文鏡。釧は銅製。柏崎古墳群内の天神山古墳出土と伝えられる。
15	市	無民	かみのもち ししまい 上野本の獅子舞	上野本1812-1(八幡神社・上野本獅子舞保存会)	野本八幡神社に奉納される獅子舞。宝暦2(1752)年銘の張り紙をつけた太鼓がある。
16	市	無民	ふるこおまつり 古凍祭ばやし	古凍499(鷲神社・古凍祭りばやし保存会)	鷲神社の夏祭りに奉納される祭ばやし。
17	市	史	ごりょういせき 五領遺跡	柏崎字五領・若松町二丁目ほか	古墳時代前期を代表する五領式土器を出土する遺跡。
18	市	史	しめんけいかしゅくあと 春桂家塾跡	下野本1076(了善寺)	明治8(1875)年、高俊海(号を古香)により開塾された私塾。
19	市	史	のものとやたあと 野本館跡	下野本662ほか(無量寿寺)	鎌倉時代の野本氏一族の館跡。二重の土塁と空堀をもつ。
20	市	史	やまこふん おくま山古墳	古凍92ほか(熊野神社)	古墳時代後期の帆立貝形的前方後円墳。盾を持つ人物埴輪等が出土している。

## 4 唐子地区

番号	指定	種類	名称	所在地ほか	概要
1	県	考	いたいしとうば 板石塔婆	神戸1121(妙昌寺祖師堂)	貞和2(1346)年銘。日蓮上人65回忌の供養のため建立。
2	県	史	おおどりじょうあと 青鳥城跡	石橋2104ほか	平安時代から戦国期の城跡。外郭土塁や空堀が現存する。伝青鳥判官築城。
3	県	史	わかみやばちまんこふん 若宮八幡古墳	石橋2240-1(八幡神社)	巨大な凝灰岩の横穴式石室を有する。円墳。
4	市	建	じょうくういんほんどう くり せんどう 浄空院本堂・庫裡・禅堂	上唐子679(浄空院)	文禄2(1593)年、旗本菅沼越前守定吉が永平寺より喚龍善応和尚を請じて、天台宗法養寺改め、曹洞宗浄空院を開山する。近世禅寺院建築様式を伝える。
5	市	彫	みょうしょうじ にちれんしやうにんそ しぞう 妙昌寺日蓮上人祖師像	神戸1121(妙昌寺祖師堂)	室町時代の作。桧寄木造りの祖師像。
6	市	考	みょうしょうじ がとう 妙昌寺の瓦塔	神戸1121(妙昌寺)	安永6(1777)年銘の墨書。五重造りの瓦塔。
7	市	考	みょうしょうじ いたいしとうば 妙昌寺の板石塔婆	神戸1121(妙昌寺)	文明13(1481)年銘。日蓮宗独特の題目板碑。
8	市	考	とらごいし 虎御石(板碑)	石橋1335(青鳥城二郭跡の東)	応安2(1369)年銘。胎蔵界大日如来の種子が彫られている。比企・入間地方最大の板碑。
9	市	考	おおどりじょうあといたいしとうば 青鳥城跡板石塔婆	石橋1310(青鳥城二郭跡の西)	正中3(1326)年銘。蓮座の上に阿弥陀が、その下に「南無阿弥陀仏」の題目が彫られている。
10	市	考	すいじんとう 水神塔	上唐子1677-2(月田橋脇)	しかだ 筏師が安全祈願で建てた水神塔。筏師48名の名を刻む。
11	市	考	すがぬまし いちぞく はか 菅沼氏一族の墓	上唐子679(浄空院)	浄空院を菩提寺とする旗本菅沼一族の墓。
12	市	考	かぶとつかこ ふんしやくとひん 冑塚古墳出土品	下野本528-1(市埋蔵文化財センター)	下唐子古墳群の冑塚古墳出土品。金環・銀環・馬具・須恵器高坏・坏他。
13	市	考	にしはら ごうふんしやくとひん 西原1号墳出土品	下野本528-1(市埋蔵文化財センター)	銅鏡1・圭頭太刀1・鉄鏃6
14	市	史	つきかわ ごうふん 附川1号墳	石橋330(南中学校)	当市における古墳調査の端緒。銅張り形の横穴式石室構造。
15	市	無民	しもがらこ ししまい 下唐子の獅子舞	下唐子995(唐子神社・下唐子獅子舞保存会)	唐子神社の夏祭りと秋祭りに奉納される獅子舞。
16	市	無民	ごうと ししまい 神戸の獅子舞	神戸875(神戸神社・神戸獅子舞保存会)	神戸神社の夏祭りに奉納される獅子舞。

# 東松山市の指定文化財一覧

重=重要文化財 建=建造物 選民=記録作成民俗文化財 史=史跡 考=考古資料  
 歴=歴史資料 無民=無形民俗文化財 有民=有形民俗文化財 絵=絵画 天=天然記念物  
 工=工芸品 古=古文書 彫=彫刻 名=名勝 旧=旧跡 書=書籍 典=典籍  
 登=登録有形文化財(新設)

## 5 高坂地区

番号	指定	種類	名称	所在地ほか	概要
1	県	歴	しょうほうじ どうしやう 正法寺銅鐘	岩殿1229(正法寺)	元亨2(1322)年。武州比企郡岩殿山の銘。
2	県	歴	こうあんよ ねんめいらいたいしどうば 弘安四年銘板石塔婆	正代864-1(青蓮寺)	弘安4(1281)年銘。鎌倉時代の武士団小代氏を伝える板碑。
3	県	史	しょうほうじ ろくめんどう 正法寺六面幢	岩殿1210(正法寺)	板石塔婆6枚(1枚欠)を6角形に組み合わせたもの。天正10(1582)年銘。
4	県	名	ものみ やまいわどのさんかんのん しょう 物見山岩殿山観音の勝	岩殿 物見山周辺地	物見山は比企丘陵の最高峰。物見山から正法寺周辺は四季を通じ、景勝の地。
5	県	旧	か がつめし りるいだいほ 加賀爪氏累代墓	高坂834(高濟寺)	加賀爪政尚・忠澄・直澄三代ほか一族の墓石群。
6	市	建	しょうほうじ しょうろう 正法寺の鐘楼	岩殿1229(正法寺)	元禄15(1702)年、山田茂兵衛の寄進により再建。屋根は箱棟の茅葺き。
7	市	彫	けつかくやくしによらいざそう 毛塚薬師如来坐像(石像)	毛塚791(薬師堂)	台座に安永9(1780)年の銘。石像の薬師如来坐像。
8	市	彫	せみやうじゆじ せんじゆかんのりやうそう 世明寿寺千手観音立像	正代742-1(世明寿寺)	鎌倉彫刻の伝統をよく伝える一木造、玉眼。同時期と思われる二十八部衆を従える。
9	市	彫	せみやうじゆじ にじゅうはちぶしやうそう 世明寿寺二十八部衆像	正代742-1(世明寿寺)	千手観音に従う眷属。二十八部衆に風神・雷神が加わっている。
10	市	彫	はちまんじんじやますこうしんどう 八幡神社前庚申塔	宮鼻252(八幡神社前)	寛文11(1671)年の銘。舟形の石に阿弥陀像と三猿、二鶏が刻まれている。
11	市	彫	あいせんみやうおう 愛染明王	高坂(個人蔵)	背面に元文3(1738)年の銘。愛染明王像を上部に抱く石塔。
12	市	彫	けつか せきぶつ 毛塚の石仏	毛塚(個人蔵)	緑泥片岩製の板状のものに船形光背を彫り、その中に阿弥陀像と7体の仏化が陽刻されている。
13	市	工	たんどう 短刀(英義)	宮鼻(個人蔵)	慶応元(1865)年銘。英義は、川越藩士となり藤枝太郎英義と名乗る。
14	市	書	しょうほうじ さんかく 正法寺の算額	岩殿1229(正法寺)	現嵐山町杉山の内田祐二郎が明治11(1878)年に奉納したもの。
15	市	書	せみやうじゆじ さんかく 世明寿寺の算額	正代742-1(世明寿寺)	岩殿村望月の神能小右衛門の門人、正代村の小堤幾蔵が明治10(1877)年に奉納したもの。
16	市	古	だいかんもんじよ 代官文書	毛塚(個人蔵)	毛塚の坂本家の代官文書。
17	市	古	みんぱんだいそうきやう 明版大蔵経	岩殿1229(正法寺)	213部1555巻、水野石見守忠貞が奉納。中国、明代の蔵経を版刻大成したもの。
18	市	古	しょうほうじ ちゆうせいもんじよ 正法寺の中世文書	岩殿1229(正法寺)	法脈の書である血脈、印信の他、上田朝直・前田利家関係文書。
19	市	考	しょうほうじ あみ だいつそんたいしどうば 正法寺阿弥陀一尊板石塔婆	岩殿1229(正法寺)	鎌倉時代の作。阿弥陀一尊像の浮彫画像。
20	市	考	しょうほうじ あみ ださんそんたいしどうば 正法寺阿弥陀三尊板石塔婆	岩殿1229(正法寺)	鎌倉時代の作。阿弥陀三尊像の浮彫画像。線刻の光背を持つ。
21	市	考	そうじやくそうもんきやう 双雀草文鏡	岩殿1229(正法寺)	和鏡で古墳出土と伝えられるが、修験者が二次的に埋納したものと考えられる。
22	市	考	あみ だどう いたいしどうば 阿弥陀堂の板石塔婆	岩殿1043(正法寺阿弥陀堂)	応安元(1368)年銘。胎蔵界大日種子と法華経の偈を持つ板碑。
23	市	考	にんじ に ねん いたいしどうば 仁治二年の板石塔婆	正代(個人蔵)	仁治2(1241)年銘。種子は阿弥陀一尊。
24	市	考	あみ だいつそんたいしどうば 阿弥陀一尊板石塔婆	正代(個人蔵)	寛喜元(1229)年銘。阿弥陀一尊像の陽刻画像。
25	市	考	あみ ださんそんたいしどうば 阿弥陀三尊板石塔婆	正代(個人蔵)	阿弥陀三尊像の陽刻画像。
26	市	考	こうりんじしんじ さいたいしどうば 香林寺心字座板石塔婆	下野本528-1(市埋蔵文化財センター)	種子は胎蔵界大日如来。
27	市	考	こうりんじ あみ だいつそんたいしどうば 香林寺阿弥陀一尊板石塔婆	下野本528-1(市埋蔵文化財センター)	阿弥陀一尊像の陽刻画像。
28	市	考	こうりんじ あみ だいつそんたいしどうば 香林寺阿弥陀一尊板石塔婆(仁治二年銘)	下野本528-1(市埋蔵文化財センター)	仁治2(1241)年銘。阿弥陀一尊像の陽刻画像。
29	市	考	すずつぎうわ 鈴付腕輪	下野本528-1(市埋蔵文化財センター)	古墳時代後期。内外輪とも卵形で、12個の小鈴が付き、中には小石が入れられている。
30	市	考	さんかくぶちんし さくし しんにじゆうきやう 三角縁陳氏作四神二獸鏡	下野本528-1(市埋蔵文化財センター)	県内初発見。古墳時代前期(3世紀後半~4世紀代)の東松山と初期ヤマト政権との関わりを知る資料。
31	市	考	たかさかはちごうぶんしやうどひん 高坂8号墳出土品	下野本528-1(市埋蔵文化財センター)	4世紀後半に築造された高坂8号墳主体部からの出土品。振文鏡・ヤリガンナは市内初の出土。
32	市	歴	いしほしおよ しいしほしくやうどう 石橋及び石橋供養塔	高坂(都幾川リバーサイドパーク地内)	元治元(1864)年銘。石橋及び石橋供養塔がほぼ往時のまま残されている。
33	市	歴	どうひやう はちおうじ どう 道標「八王子道」	高坂	安永10年(1781)に造立。札所巡礼に関係する石造物。
34	市	歴	どうひやう ほうのうまうはいれいくやうどう 道標「奉納経拝礼供養塔」	高坂	嘉永7年(1854)に造立。札所巡礼に「神社・仏閣」への巡拝が加わり、道標の意味合いが強くなった石造物。
35	市	有民	し しまいどうく いっしき 獅子舞道具一式(宮鼻)	宮鼻223-1(八幡神社・宮鼻獅子舞保存会)	宮鼻の獅子舞に使用されていた獅子舞道具。
36	市	無民	みやばな し しまい 宮鼻の獅子舞	宮鼻223-1(八幡神社・宮鼻獅子舞保存会)	宮鼻の八幡神社に奉納される獅子舞。
37	市	無民	しょうたいほつり 正代祭ばやし	正代841(御霊神社・正代祭りばやし保存会)	正代の夏祭り、上演される祭ばやし。
38	市	無民	うしろもとじゆく ぎやうじ 後本宿のフセギ行事	後本宿	邪気退散を願って行われる民俗行事。後本宿は2月の第1日曜日、望月は7月の2日に近い日曜日に行われる。
39	市	無民	もちつき ぎやうじ 望月のフセギ行事	望月	
40	市	史	す わやまこふん 諏訪山古墳	西本宿(個人蔵)	諏訪山古墳群中最大規模を有する前方後円墳。
41	市	史	あしかがもようじ ろいせき 足利基氏の墓跡	岩殿1051ほか	足利尊氏の二男基氏が芳賀伊賀守高貞、入道禪可との岩殿合戦の際の陣地と考えられている。
42	市	史	まくらやまかまあとくん 桜山黨跡群	桜山台4 はにわの丘公園	壇輪黨跡17基、須恵器窯2基。須恵器窯は比企地域では最古のもの。
43	市	天	しょうほうじ おおいちやう 正法寺の大銀杏	岩殿1221(正法寺)	樹齢700年と推定される銀杏(オス)。天保年間に書かれた正法寺縁起の絵図にも描かれている。
44	市	天	くんせいち カタクリの群生地	西本宿2447	3月下旬から4月上旬に紅紫色の花を咲かせる。
45	市	天	はちまんじんじや おおけだ 八幡神社の大樺	宮鼻233(八幡神社)	樹齢700年と推定される大樺。
46	市	天	あららぎ あららぎ	宮鼻(個人蔵)	樹齢200~300年と推定されるいちいの木。
47	市	天	かんのんした しみず 観音下の清水	正代741	正代の世明寿寺下にある湧水地。高坂七清水の一つ。

# 東松山市の主な祭り・行事

月	日	祭り・行事名	開催場所
1月	1日	元旦祭	各地の社寺
	16日	ナンマイダンボ(お念仏)	望月
	16日	お念仏	大平(毎月16日)
2月	3日	節分祭	箭弓町(箭弓稲荷神社)
	3日	節分祭	日吉町(松山神社)
	11日	フセギ行事	西本宿
	19日	上岡観音縁日(絵馬市)	岡(上岡観音堂)
3月	初午	初午大祭	箭弓町(箭弓稲荷神社)
	18日	フセギ行事(お獅子様)	毛塚
	26日	フセギ行事(春祈祷)	葛袋(葛袋神社)
4月	1日	春祈祷	宮鼻(八幡神社)
	1日	大般若行事	下青鳥・下郷地区(天神社)
	2日	春祭り(村祈祷)	下青鳥(浄光寺)
	15日	大般若行事	柏崎(万松寺)
	15日	大般若行事	下青鳥・上郷地区(氷川神社)
	15日	春祈祷	石橋(八幡神社)
	15日	春祭り/オシッサマ行事	東平
	15日	オシッサマ行事	古凍(鷺神社)
	15日	オシッサマ行事	東平新田
	22日	フセギ行事	石橋
	24日	下沼の弁天様縁日	本町(福聚寺)
24日	春祈祷(獅子祭り)	早俣(光明寺)	
5月	8日	花まつり	上押垂
	8日	花まつり	石橋(定宗寺)
6月	30日	大祓(人形流し)	箭弓町(箭弓稲荷神社)
	30日	大祓(人形流し)	日吉町(松山神社)
7月	1日	ケツアブリ行事	岩殿ほか
	2日	フセギ行事	望月
	8日	灯籠祭り	今泉(鷺神社)
	14・15日	初山祭	日吉町(浅間社)
	14日	初山祭	西本宿(浅間社)
	14日	夏祭り(獅子舞奉納)	野田(赤城神社)
	14日	天王様の祭り	市の川(氷川神社)
	14日	夏祭り	東平新田(八雲神社)
	14・15日	天王様の祭り	水穴(天王社)
	14・15日	例祭	東平(熊野神社)
	15日	天王様の祭り(お獅子様)	岡(玉太岡神社)
	15日	天王様の祭り(祭り囃子奉納)	古凍(鷺神社)
	15日	天王様の祭り	大黒部(愛宕神社)
	18日	夏祭り(芋っ葉灯籠)	上野本(氷川神社)
18日	夏祭り(芋っ葉灯籠、闇灯籠)	下青鳥(氷川神社)	

月	日	祭り・行事名	開催場所
7月	19日	灯籠祭り	大谷
	24日	天王様の祭り(獅子舞奉納)	上唐子(氷川神社)
	24日	夏祭り(お灯籠)	元宿(天神社)
	24・25日	例祭(獅子舞奉納)	神戸(神戸神社)
	24・25日	松山の天王様の祭り (山車行事・祭り囃子奉納)	本町(八雲神社)
	25日	正代の天王様の祭り (山車行事・祭り囃子奉納)	正代(御霊神社)
	27日	例祭(お諏訪様・獅子舞奉納)	下唐子(唐子神社)
	28日	灯籠祭り	葛袋(葛袋神社)
	下旬	大山石尊講	各地
	31日	灯籠祭り	下野本(利仁神社)
	31・1日	高坂の天王様の祭り	高坂(高坂神社)
8月	6日	七夕祭り	材木町・松葉町
	13~16日	盆行事	各地
	15日	施餓鬼	各地の寺院
	17日	施餓鬼	下青鳥(浄光寺)
	18日	ヤクジンサマの祭り	神明町(七鬼神社)
30日	灯籠祭り(子育て祈願)	東平(猪子塚稲荷社)	
9月	1日	子育て蔵縁日(イボジソウ)	東平
	4日	山王様の祭り	松山町(日枝神社)
10月	12日	薬師様の祭り	上野本(円光寺)
	13日	お会式	神戸(妙昌寺)
	14日	例祭(秋日待・獅子舞奉納)	野田(赤城神社)
	15日	秋祭り(獅子舞奉納)	上野本(八幡神社)
	17日	秋祭り(獅子舞奉納)	西本宿(浅間神社)
	19日	観音様の御開帳(安産祈願)	上押垂(泉蔵寺観音堂)
19日	秋祭り(獅子舞奉納)	下唐子(唐子神社)	
11月	3日	例祭(獅子舞奉納)	宮鼻(八幡神社)
	3日	例祭(獅子舞奉納)	西本宿(浅間社)
	23日	秋祭り(金谷の餅つき踊り奉納)	上野本(氷川神社)
12月	8日	祭り	東平(鎮火神社)
	14・15日	お酉様	日吉町(大鳥神社)
	22日	冬至祭	東平(熊野神社)
	22日	冬至祭	元宿(天神社)
	22日	冬至祭	高坂(拂田稲荷神社)
	冬至	冬至祭	松葉町(八幡神社)
	31日	大祓	野田(赤城神社)
	31日	大祓	高坂(高坂神社)
	31日	大祓	日吉町(松山神社)
	31日	大祓	箭弓町(箭弓稲荷神社)

(注意) 日取りは変更されている場合がありますので、見学・参拝の際はご確認ください。

# 東松山市の 指定民俗文化財

## 東松山上岡観音の絵馬市

(岡の妙安寺・上岡観音／2月19日)

馬の守り神である上岡の馬頭観音の信仰を伝える習俗です。牛馬を描いた絵馬を売る市が立ちます。絵馬は牛馬の災難除けて、昔は農家の人たちにぎわいましたが、今では競馬場や乗馬クラブの関係者が多く訪れています。



## 野田の獅子舞

(野田の赤城神社／7月14日・10月14日に近い日曜日)

江戸時代の寛永年間（1624～1643）から始まり、厄除けの夏祭り、五穀豊穡の秋祭りに鎮守赤城神社境内で奉納されます。白足袋姿で敷物の上で舞うのが特徴で、座敷獅子と言われます。

## 箭弓町祭ばやし・松葉町祭ばやし

(旧町内／7月24・25日に近い土・日曜日)

夏祭りの屋台ばやしです。八雲神社の御神体を御輿に移して練り歩き、各町内では祭ばやしを演奏しながら屋台を繰り出して曳きまわします。京都の祇園ばやしを源流とし、江戸の祭ばやしの流れをくんでいるといわれます。



## 金谷の餅つき踊り

(上野本の氷川神社／11月23日)

五穀豊穡を祈念して行われる行事です。餅つき踊りの演目は全部で16種類で、3人つきと5人つきがあります。つきあがった餅は奉納され、見物に訪れた人々にも配られます。

## 上野本の獅子舞

(上野本の八幡神社／10月15日に近い日曜日)

18世紀半ばに始められたといわれる獅子舞です。「棒使い」が獅子舞に先立って行われるのが特色で、市内他地域では見られません。長さ6mの豪華な万灯も目を引きます。



## 古凍祭ばやし

(古凍の鷲神社／7月15日に近い日曜日)

吉見町飯島新田と川島町小見野から伝えられたと言われる祭りはばやし。はやしの曲に合わせて、屋台の上で面をつけたおかめ、ひよつとこ、天狗、獅子などが舞を披露します。



## 下唐子の獅子舞

(下唐子の唐子神社／7月27日・10月19日に近い日曜日)

疫病除けを願う夏祭りと五穀豊穡に感謝する秋祭りに奉納されます。1頭の雌獅子をめくって2頭の雄獅子が争う「雌獅子隠し」の舞はドラマ性があり、その舞姿の多彩な美しさは見応えがあります。

## 神戸の獅子舞

(神戸神社／7月24・25日に近い土・日曜日)

疫病除けを願って夏祭りに奉納されます。昔から神戸地区は「神戸米」の産地としてその名が知られる米どころでした。早ばつの年には特別に雨乞いのために獅子舞を奉納することもありました。



## 宮鼻の獅子舞

(宮鼻の八幡神社／11月3日)

五穀豊穡に感謝して舞われる勇壮な踊りが特色の獅子舞です。近年、休止されていますが、市の指定文化財となっている獅子頭などは披露されています。

## 正代の祭ばやし

(正代の御霊神社／7月25日に近い日曜日)

正代の夏祭りに演じられる祭ばやしです。屋台の上で祭ばやしを演奏します。白狐やひよつこの踊り、おかめの踊りなど、屋台の踊りに合わせた数々の面が残されていて、その面の数が多いことも特色です。

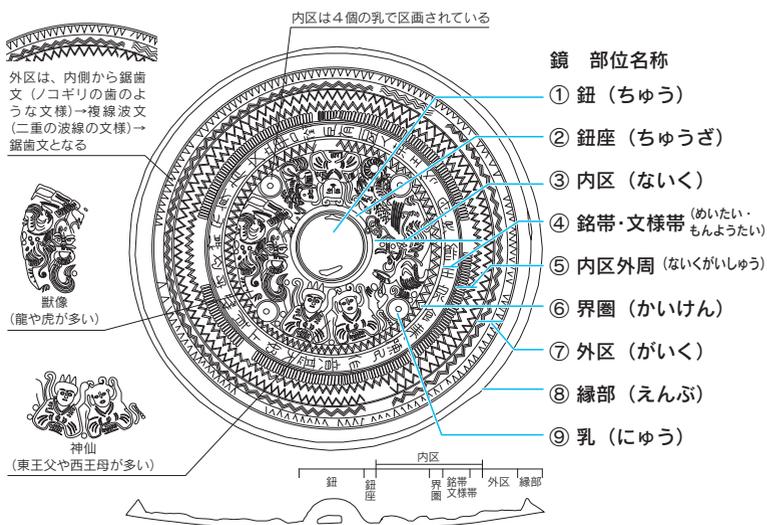


# 三角縁神獣鏡



平成23年10月半ば、高坂古墳群内さんかくがくぶちしんじゅうきょうで三角縁神獣鏡が発見されました。埼玉県では初めての発見です。

三角縁神獣鏡とは、3世紀頃作られた銅鏡で、日本の古墳時代前期の古墳から多く出土しています。円盤状の鏡体の中央に半球形の鈕ちゆう（紐通しのつまみ）を設け、縁部の断面形が三角形状になった22cm前後の大型の鏡で、内区に神像と霊獣像とを浮き彫りにした文様を持っているものです。



今回発見された鏡は『陳氏』が作り、四柱の神像と二頭の獣像が表された鏡ということで、鏡式は『三角縁陳氏作四神二獣鏡』さんかくがくぶちしんじゅうさくしん にしゅうきょう。面径22cmをはかります。三角縁神獣鏡の編年に照らし合わせると250年から260年の間に制作されたものです。この鏡には同範鏡どうはんきょう（同じ鋳型から作られた鏡）が知られておらず、新しい資料です。しかし、鋳型を直した形跡がみられ、初鋳の鏡ではないようです。

## 銘文

この鏡は銘帯を持ち、銘文が鑄だされています。

陳氏作竟甚大好  
上有戲守及龍虎  
身有文章口銜巨  
有聖人東王父王母  
渴飲玉泉食棗

【釈文】 陳氏の作りし鏡は甚だ大いに好らしい。(鏡の)上に奇獸及び龍・虎が有る。(奇獸や龍虎の)身には文章が有り、口には巨を銜える。(古に)聖人・東王父・西王母が有り、渴けば玉泉を飲み、(飢えれば)棗を食らう

## 内区文様



西王母・東王父



龍・仙人



西王母・神仙・傘松文



虎・仙人

## 三角縁神獣鏡の出土意義

三角縁神獣鏡は日本全国の有力前期古墳からおよそ560面が出土しており、奈良・京都・兵庫・大阪の近畿地方(畿内)の出土がほぼ半分を占めています。また、同範鏡の分布についても、畿内の大型古墳を核としている状況が認められ、これらのことから、三角縁神獣鏡は、畿内地域の特定勢力からの分配が推定されています。これまでの発掘調査における出土品からも、たびたび畿内勢力と比企地方との結びつきが指摘されてきましたが、東松山市域に畿内勢力と強い結びつきを持った勢力があったことが、ここで改めて示されることとなったのです。

# 東松山市埋蔵文化財センター

【住所】下野本528-1 【TEL】0493-27-0333

【開館時間】午前9時～午後4時30分（土・日曜日・祝日・年末年始を除く）



豊かな自然に恵まれている東松山市には、先人が残した遺跡が数多く所在しています。遺跡に残された住居跡や使用していた道具など、地下に埋もれていた文化財は埋蔵文化財と呼ばれ、当時の人々の生活や文化を知ることができます。

埋蔵文化財センターでは、出土品を収蔵・保管し、整理を行い、私たちの祖先が残してくれた貴重な文化財を長く伝えていけるよう取り組んでいます。

展示室では市内の遺跡を代表する出土品、開放廊下からは整理作業の様子がご覧いただけます。



## 展示室

復元・保存処理を終えた文化財を、年代順に展示しています。貴重な遺物の数々は、この地に根づいた先人たちの高い文化を教えてください。



## 発掘調査

手作業で慎重に掘り進められます。図面や写真での記録作業の後、出土した遺物を収納します。

## 資料整理室

発掘調査が終了すると、遺物の洗浄や復元、実測図の作成、遺構図面の整理、写真の撮影などの作業が行われます。



## 収蔵庫

発掘調査現場から持ち込まれた遺物は、未整理のもの、整理済みのもの、金属器類など、それぞれ地区別に収蔵庫に収められています。

